

京都市青少年科学センターの概要



資料5-3

● 概況

- ・ 1969年5月、「『科学者精神』を体得した将来の市民の育成」を目的として現在地に設立。前身は、戦後に科学教育振興の先駆けとして大きな役割を果たした「科学教室」（1951年設置）。
- ・ 2025年3月、博物館法に定められる博物館に登録（1979年、博物館に相当する施設に指定）。
- ・ 子どもたちの理科教育や市民の生涯学習の振興に向け、多くの大学や企業団体等との連携・協働、御支援を賜りながら、「センター学習」や「教員研修・学校等支援」、「市民科学事業」など、様々な取組を推進。
- ・ 展示場の一般入館者数は年間で約14万人（その他、センター学習等での来館者あり）。

所在地：京都市伏見区深草池ノ内町13



[地下鉄竹田駅から東へ約1km、京阪本線藤森駅から西へ約400m]

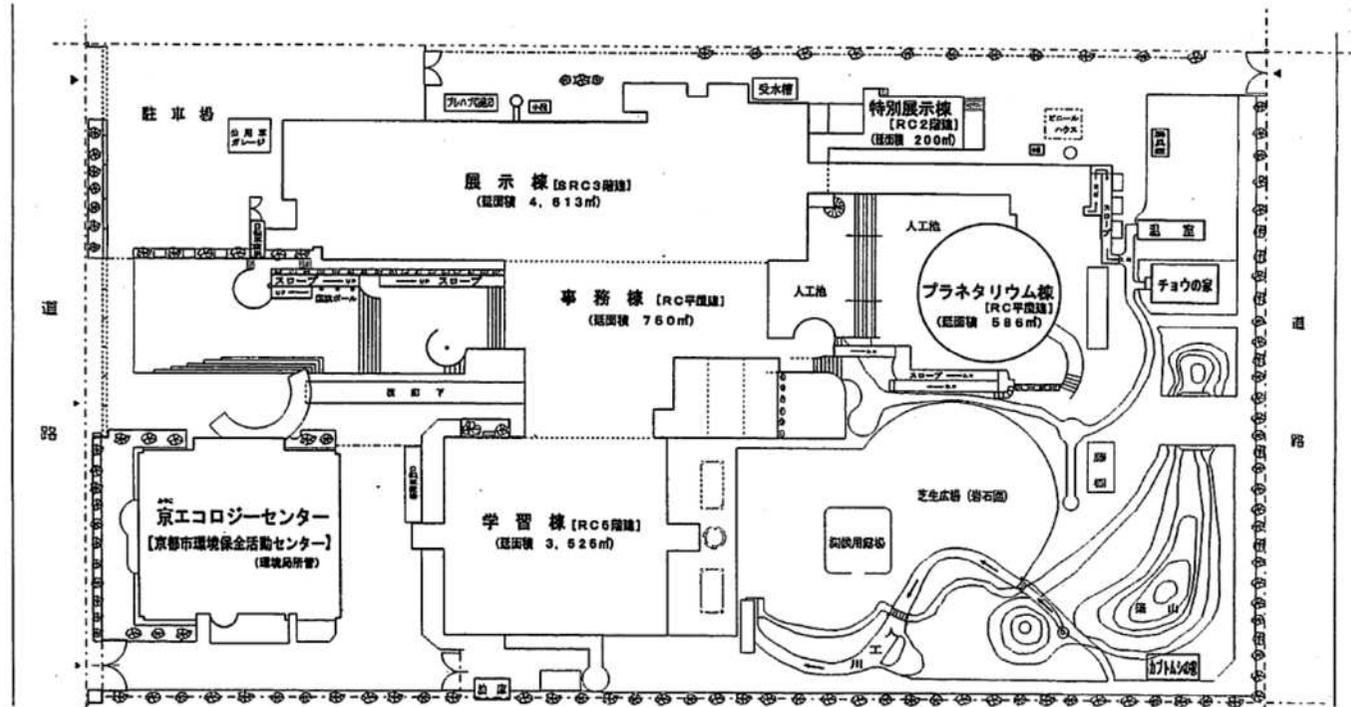


● 施設について

- ・ 用途地域 第1種住居専用地域、容積率 200%、建蔽率 60%、高度地区 20m第2種高度地区
- ・ 敷地面積 17,408㎡、延床面積 9,674㎡（鉄筋コンクリート造地上3階）、屋外園 5,200㎡
- ・ 1969年竣工。指定都市の科学館15館の中では一番古い施設（設備）。目標耐用年数は80年。

<建物等の主な内容>

- ・ 学習棟 3,525㎡
実験室、天文台など
- ・ 展示棟 4,813㎡
展示スペース（2,030㎡）など
- ・ プラネタリウム棟 586㎡
- ・ 事務棟 750㎡
- ・ 屋外園 5,200㎡
チョウの家、カブトムシ飼育所等



● 主な事業について

主な事業	内容
センター学習	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校、総合支援学校段階の子どもが、学校教育活動の一環として来館し、独自の教材やプログラムを用いて実施する観察実験学習。 [小学校6年生は全校参加]
教員研修・学校等支援	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校教員等を対象とし、観察実験の基本的な実技や効果的で安全な指導法など、年間20種類以上のメニューで研修を実施。 観察実験の補助等を行うスタッフの派遣や指導等に関するアドバイス、教材貸出など、理科教育の充実に向けた学校への支援を実施。
市民科学事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民の科学に対する興味関心を高めるため、展示場やプラネタリウムの公開、市民向けの各種講座を実施

一般入館者数等の推移

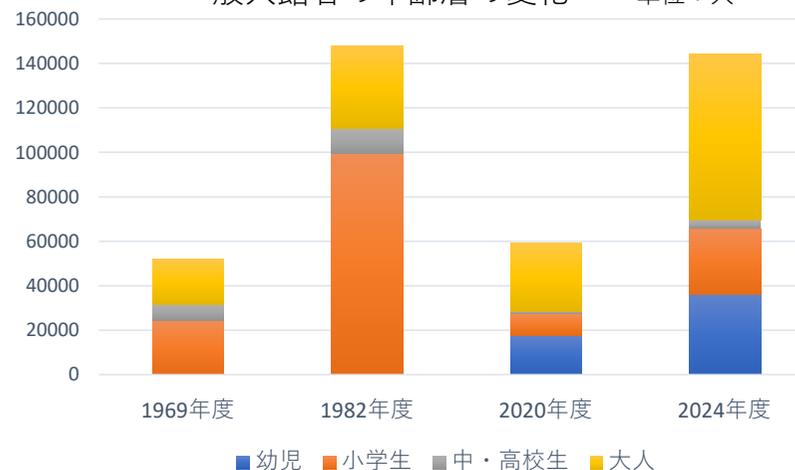
単位：人

年度	1969	1982	2018	2020	2024	
展示場一般入館者数	51,957	147,999	133,304	59,453	144,305	
内訳	幼児	-	-	34,981	17,598	36,101
	小学生	24,321	99,326	33,680	9,852	29,593
	中・高校生	7,436	11,398	3,318	1,141	3,943
	大人	20,200	37,275	61,325	30,862	74,668
	(親子ふれあいSR)	-	-	(28,744)	(12,980)	(34,628)
<参考>						
プラネタリウム観覧者	39,606	115,667	66,707	16,536	70,314	
センター学習	70,139	84,966	31,895	44	25,043	

※ 親子ふれあいSR（サイエンスルーム）：乳幼児と保護者が、科学的な遊具や本などにふれあい、科学の不思議や面白さを体験する場。（2012年度に開設）

一般入館者の年齢層の変化

単位：人



● 特色ある取組について

- 多様な企業団体等との連携・協働により、事業の対象は、サイエンスを基軸に、伝統産業や芸術など他の分野を包摂するものへと広がっています。

○ STEAM LAB.

- JRA騎手クリストフ・ルメール氏とのトークセッション
- バレンタイン プラネタリウムコンサート (京都市交響楽団×星空)

○ おとなのセンター学習

- 日本酒の科学 ～酵母の不思議～

「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産登録を契機に企画。
京都酵母を開発した京都市産業技術研究所と連携。
アルコールの性質に関する実験を通じて酵母の働きを学ぶ。

○ 科学×京都の伝統産業×伝統工芸

- 金箔、和ろうそく、京コマ



京コマ職人が講師。
コマが回る物理法則を学びつつ、
京コマを製作。

● 多様な主体との主な連携・協働について

連携手法	連携主体・内容
包括連携協定	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>(株)村田製作所「STEAM教育を通じて次世代を育成するパートナー」</u> 【2023年度から10年間】 ⇒ 展示場や体験事業等の充実支援。毎年1千万円、合計1億円の寄付。 ・ <u>武田薬品工業(株)京都薬用植物園「教育活動の推進」</u> 【2024年度から3年間】 ⇒ 屋外園整備や教員研修の充実支援。 ・ <u>京都市動物園、京都府立植物園、京都水族館「きょうと☆いのちかがやく博物館」</u> 【2014年度～】 ⇒ 連携イベントの実施。
体験講座	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>未来のサイエンティスト養成事業「体験コース」における協力企業・団体</u> 【2024年度実績】 大阪ガスネットワーク(株)、京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学講座、京都大学iPS細胞研究所、(株)サイフューズ、テラスエナジー(株)、さすてな京都、(株)島津製作所、清水長金属工業(株)、ナカライテスク(株)、ニデック(株)、(株)村田製作所、京都市衛生環境研究所、京都市上下水道局
企業特別展	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>企業特別展における協力企業</u> 【2013～2024年度実績】 ニチコン(株)、京セラ(株)、オムロン(株)、ローム(株)、(株)堀場製作所、三洋化成工業(株)、タキイ種苗(株)、(株)SCREENホールディングス、(株)村田製作所
協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>京都市科学系博物館等連絡協議会</u> 【26団体が加盟】 ⇒ 青少年科学センターが事務局となり、毎年、サイエンスフェスティバル等を開催
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>標本研究における連携</u> 大阪市立自然史博物館、滋賀県立琵琶湖博物館